

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	現在、平均介護度4.3となり、認知症支援より身体介護が主となってきている。自分から想い(希望)を伝えることが出来ない方にとって、希望に沿った支援を行う事が出来ているか疑問を感じる。	身体介護を必要とする人が多いため、排泄・食事・入浴・移動、全てにおいて介助の時間が増え、その分ご利用者の個別支援の時間が減ってきているが、限られた時間の中でご利用者の想い(希望)に沿った支援をスタッフ一人ひとりが行うことが出来るようになる。	想い(希望)を伝えることができないご利用者の気持ちを理解できるようになるための勉強会を行い、心理的・精神的な面からアプローチができ、ご利用者の希望に沿った支援に取り組む事が出来る。	3ヶ月
2	33	ご利用者の重度化に伴い、必要とされるケアが増えてきている中、スタッフ一人ひとりがそのケアのエビデンスを把握できていないため、ご家族の面会時に現在の状態を正確に伝える事が出来ていないのではないかと？	すたっぴ一人ひとりがご利用者の状況に応じた支援内容をご家族の面会時には正確に伝える事が出来るようになる。	エビデンスを理解したうえで支援の展開を図れるようになるための勉強会を行い、スタッフ一人ひとりが責任を持って支援に取り組んで行けるようになる。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。